



子どもたち 先生方の笑顔のために

# 共に歩まん

壁面に掲示してご活用ください



令和4年11月25日発行

第15号

長野県中信教育事務所

←過去の「共に歩まん」はこちら

## シリーズ「ここが大切 授業づくり」 理科編

### 「問題解決の力」の育成を意識して授業を構想をしましょう!

#### ステップ1

##### 単元の目標を明確にしましょう

学習指導要領解説を参考に、単元の目標を確認し、「育成を目指す資質・能力」を明確にしましょう。

#### 問題解決の力

- ① 差異点や共通点を基に、  
問題を見いだす力
- ② 既習の内容や生活経験を基に、  
根拠のある予想や仮説を発想する力
- ③ 予想や仮説を基に、  
解決の方法を発想する力
- ④ より妥当な考えをつくりだす力

#### ステップ2

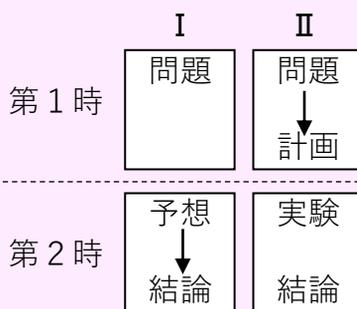
##### 評価計画を作成し、どの観点をどこで評価するのか考えましょう

子どもたちの実態に合わせて単元展開を考えます。学習指導要領解説では、育成を目指す資質・能力のうちの「思考力、判断力、表現力等」を「問題解決の力」として上のよう整理してあります。子どもたちがの苦手意識が「実験方法を考えること」にあるのならば、単元の中のどこかで実験方法を考える場面をつくり、それを評価する時間を設定しましょう。

#### ステップ3

##### 指導計画を作成しましょう

「問題解決の力」を育成するために、どれくらいの時間を確保するかを考え、場合によっては右のように2時間続きの時間を計画します。



「問題を見いだす力」の育成を目指すのであればIのように、「解決の方法を発想する力」の育成を目指すのであればIIのように、子どもたちがじっくりと考える時間を確保します。

#### ステップ4

##### 働かせる「理科の見方・考え方」について検討しましょう

「見方」は、エネルギー、粒子、生命、地球の4つの領域において、自然事象を見るための視点。「考え方」は、問題を科学的に解決するための方法であり、問題解決の力とリンクしています。「比較」「関連付け」「条件制御」「多面的に調べる」といった場面を意識して、授業を構想しましょう。



「問題解決の力」を一人ひとりに育成できるように、問題やその解決方法を見いだす時間を十分に確保し、見いだすために適切な指導をしていくことが大事なんだね。「理科の見方・考え方」を働かせながら、問題解決の過程を繰り返すことで、「問題解決の力」を育成していけるといいね。

